



～糖尿病専門外来チーム



について～

<糖尿病専門外来の開設>

糖尿病は高血糖が続いても、自覚症状があまりないため、放置してしまっている方が多く、気づいた時には、すでに合併症が進んでいたということも少なくありません。糖尿病の気があるといわれたら、何も症状がなくても定期的に受診し、正しい知識を身につけ、患者様自らが自己管理していただくことが糖尿病発症、さらに合併症を防ぐ唯一の方法です。そこで、当院では平成14年から毎週月・水・木曜日の午前中に糖尿病専門外来を開設しています。

<糖尿病専門外来チームの活動>

糖尿病専門外来では、糖尿病専門医が診察し、更に糖尿病療養指導士（看護師・管理栄養士・薬剤師）、臨床検査技師、理学療法士がチームを組み、糖尿病教室（毎週水曜日13：00～14：30、内容は7週で1サイクル、右の表）や糖尿病公開講座（年1～2回、春、秋、日曜日の9：00～15：30）を開催し、外来で個々



糖尿病公開講座

の患者様に対し、継続して栄養指導を行うとともに、糖尿病料理教室も開催しています。



糖尿病教室内容

糖尿病とは	医師
食事療法Ⅰ（食事療法の第1歩）	管理栄養士
検査の見方・考え方 運動療法	臨床検査技師 理学療法士
日常生活の過ごし方 糖尿病の薬について	看護師 薬剤師
食事療法Ⅱ（食品交換表の活用）	管理栄養士
糖尿病の合併症	医師
食事療法Ⅲ（間食・アルコール・外食）	管理栄養士

私たち、医療チームは患者様一人ひとりに対して、糖尿病の詳しい説明や悩み事の相談をお受けし、個々の患者様に最適な治療をしたいと考えています。また、患者様に糖尿病治療の最新情報を提供できるよう、毎年、日本糖尿病学会に参加するとともに学会発表もしています。現在、糖尿病患者様やそのご家族のための糖尿病友の会「しゃくなげ会（仮称）」の立ち上げを準備中です。皆様の入会、糖尿病教室への参加をお待ちしています。

日本糖尿病療養指導士（管理栄養士） 新谷 美智

<問い合わせ> 仁淀病院内科外来 画 893-1551

柳野地区に春のシンボル

3月30日、柳野地区で桜の植栽が行われました。これは、地区住民で組織する「明るい柳野を創る会」のメンバーが、緑の募金を活用し高知県森と緑の会から桜の苗木の支援を受けたものです。

苗木はソメイヨシノ80本で、ふれあいの里直販所を中心に、会のメンバー



15名により1本ずつ丁寧に植栽されました。

ソメイヨシノは定期的に入れ替えることが必要であり、明るい柳野を創る会の松本会長は「みんなで頑張ってお世話をしていく。桜の里を目指し、より一層地域の活性化に取り組んでいきたい。」と話していました。